

第2回「市民と市長のふれあいトーク」の内容(要旨)

と き 11月19日(月)

テーマ 環境

参加者 西本正行さん(下田邑)、中村晋也さん(高野本郷)、新田和子さん(津山口)

安心・安全な農作物づくりと 環境に優しいまちづくり

参加者からは、環境に優しいまちづくりのためには、ごみの減量化と資源循環が大切であり、EM菌(有用微生物群)を使って家庭の生ごみを堆肥化し、安心・安全な農作物づくりに生かしていく必要があるとの意見が出されました。

また、今年、プールの水質を浄化するため市内の小中学校にEM菌を提供したところ、学校や保護者から「プール掃除が楽になった」という声が寄せられているとの説明がありました。

市からは、産学官連携によって積極的に地産地消の取り組みを行っていること、家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器の補助事業など「第2次ごみ減量行動計画」に基づく取り組みを行っていることなどを説明しました。

また、小中学校プールへのEM菌の投入については、同じ声のほか、児童や生徒が環境を考えるきっかけにもなっていて、引き続きEM菌の提供を希望する声が多いことを紹介しました。

そして、生ごみ堆肥を農業などで活用するシステムが出来ていないと、堆肥を作るだけになってしまうことを、お互いに確認しました。

環境への意識を高める

参加者は、地域の子どもたちや町内会などと連携して、環境に優しいまちづくりができるように活動をしていきたい。官民協働で環境に対する意識を高めていく取り組みも必要と話しました。

